

さらば、わが愛／霸王別姫（はおうべっき）（1993）

霸王別姫

FAREWELL TO MY CONCUBINE

FAREWELL MY CONCUBINE

メディア 映画
ジャンル 文芸 ドラマ
製作国 香港
色彩 Color
時間 172分
初公開日 1994/02/11
公開情報 テレビ東京=ヘラルド・エース提供／ヘラルド・エース=ヘラルド
映倫 G
リバイバル 2023/07/28 [KADOKAWA]（4 K版）

【解説】

演ずることに全てを捧げた二人の男の波乱に満ちた生涯を、京劇『霸王別姫』を軸に描いた類稀なる傑作。身を持って余した遊廓の母に捨てられ、京劇の養成所に入れられた小豆。淫売の子といじめられる彼を弟のようにかばい、辛い修行の中で常に強い助けとなる石頭。やがて成長した二人は、それぞれ“程蝶衣”、“段小樓”と名を変え、京劇界きってのスターとなっていた……。一つ一つの出来事が物語全体を通し巧みに絡み合い、それが映画の進行につれ絶大な説得力を浮かび上がらせる。女形として選ばれたが、なかなか女に成り切れない小豆。しかしその辛苦を乗り越えたとき、彼の心は完全なる女として生まれ変わり、それは“段小樓”への包み隠さぬ想いともなる。だが心がいくら女であろうとも、男である限り“程蝶衣”に成就の手立てはない。“段小樓”へのやりきれない愛情を胸に抱いたまま、女であるというだけで優位に立てる遊廓の菊仙と反目する“程蝶衣”。だが生命の危機を前に、非情な選択を迫られる激動の時代の中では、信頼と愛情で繋がれたはずの二人の間に決定的な亀裂が生じる。二人の間を阻む存在を置くことで観る者に絶えず葛藤を与え、三時間に及ぶ長尺にも関わらずそれを感じさせない演出手腕は絶品で、中国第5世代監督のチェン・カイコーがその才能をいかんなく発揮した。幼年時代、仲間と共に養成所を逃げ出し、当時一番のスターが演じた『霸王別姫』を見る小豆。どんなに打ち据えられてもいつの日か舞台に立ちたいと涙を流す友人に、小豆の想いも同じだった。だが、新しい時代を迎えた京劇を前に、昔ながらの厳しい特訓を信じる“程蝶衣”はひとり取り残されていく……。全編に漂う何とも言えない遣り切れなさに、胸はかきむしられる。

【クレジット】

監督 チェン・カイコー Chen Kaige
製作 シュー・ビン
シュー・チエ
チェン・カイコー Chen Kaige
製作総指揮 タン・チュンニエン Tong Cunlin
シュー・フォン Hsu Feng
原作 リー・ピクワー Li Pik-Wah
脚本 リー・ピクワー Li Pik-Wah
撮影 クー・チャンウェイ Gu Chang-Wei
音楽 チャオ・チーピン Zhao Jiping
出演 レスリー・チャン Leslie Cheung
チャン・フォンイー Zhang Feng-Yi

コン・リー	Gong Li
グォ・ヨウ	Ge You